

医師と医師会を結ぶ情報紙

令和6年7月15日／毎月1回15日発行

Vol. 701

都医NEWS

発行所 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 1部77円

2024年世界禁煙デーイベントならびに
東京スカイツリー点灯式 01
底流／地区医師会長連絡協議会報告 ほか 02
東京都医師会 第302回(定時)代議員会 ほか 03
令和6年度 診療報酬改定について ほか 04
みどりの広場 ほか 05
ふれあいポスト 06
感染症豆知識 ほか 07
地区医師会長からの一言 08



浅草 ほおずき市

2024年世界禁煙デーイベントならびに 東京スカイツリー点灯式



イエローグリーンに染まるスカイツリー

世界保健機関(WHO)が定める5月31日の「世界禁煙デー」および、厚生労働省が定める5月31日～6月6日の「禁煙週間」において、普及啓発活動の一環として、5月31日(金)東京都医師会館にて、東京都医師会・禁煙推進企業コンソーシアム主催の2024年世界禁煙デーイベントがハイブリッド形式で開催された。また同日の夕刻には、東京都医師会と東京都の主催による東京スカイツリーの特別点灯式が行われた。

2024年世界禁煙デーイベントでは「健康行動と禁煙推進を先進事例から考えるー医学エビデンスから企業事例まで」をテーマに、第1部 東京都医師会セッション、第2部 禁煙推進企業コンソーシアムセッション、第3部 本日の総まとめのプログラムが組まれた。

第1部は、東京都医師会タバコ対策委員会の委員がメインのセッションで、セッション1では「加熱式タバコの本当のリスク」と題して、当委員会委員でもある、東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学専攻公衆衛生学分野の田淵貴大准教授による講演が行われた。セッション2では「関係団体と連携した調布市受動喫煙防止条例の取組」と題して、調布市福祉健康部の木村良太健康推進課長より調布市での取り組みが紹介された。さらにセッション3では「各団体におけるタバコ対策の取組紹介」をテーマに、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会、東京都養護教諭研究會、科学ジャーナリスト、禁煙推進企業コンソーシアム、東京都保健医療局の代表より各団体の取り組みが紹介された。

第2部では、禁煙推進企業コンソーシアムがメインとなりプログラムが組まれた。「マナシメント側によるプレゼンテーションセッション」、「産業医・保健師・看護師含む禁煙推進担当者の事例発表」、「施策の深堀コーナー」と題して、各社の役員、産業医、人財本部、人材開発部より取り組みが発表された。各社とも「健康経営」の理念のもと、積極的な取り組みが紹介された。

第3部では、荒井敏タバコ対策委員会委員長、米田哲郎禁煙推進企業コンソーシアム事務局長より、本日の重要ポイントの総まとめが行われた。

一方、点灯式は場所を交えて、東京ソラマチのドームガーデンにおいて開催された。主催者代表として尾崎治夫東京都医師会長、小池百合子東京都知事、来賓として山本亨墨田区長、東武タワーススカイツリー(株)より新家章男代表取締役社長が司会の台詞でスカイツリーを押下すると、東京スカイツリーが世界禁煙デーのシンボルカラーであるイエローグリーンに染まるスカイツリー

スカイツリーや都内各所が
イエローグリーンにライトアップ

リン(黄緑色)に照らし出され、夜空に浮かび上がった。これと同時に、墨田川橋梁、臨海副都心各施設がイエローグリーンにライトアップされた。さらに、都庁第一本庁舎、東京芸術劇場、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、渋谷ヒカリエ、味の素スタジアムは禁煙週間の1週間、継続してライトアップされた。また、東京都医師会館をはじめ、各地区医師会館でもイエローグリーンのライトアップを行い、禁煙および受動喫煙防止の普及・啓発が期待された。



尾崎会長



鳥居理事



田淵准教授

受動喫煙防止のシンボルカラーで普及啓発



都医会館もライトアップしました

地区医師会長 連絡協議会報告

令和6年6月21日(金)

冒頭に、来賓の黒瀬蔵日本

医師会常任理事より、日本医師会新会員情報管理システム「MAMIS(マミス)」について説明があった。次いで、大久保ゆかり日本医師会理事より、東京医科大学医師会会長就任の挨拶があった。

◎都医からの伝達事項

(1) 令和6年度都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会について

厚生労働省・環境省・日本医師会より、医療廃棄物の適正処理に関する取組及び状況等の情報が共有され、5月29日(水)に開催された本協議会において、東京都医師会の医療廃棄物に関する取組が好事例として報告された。市場に出回っている1割しか廃棄されていらないとの報告もある。引き続き、今年度も水銀血圧計等の回収事業を8月下旬・9月上旬に実施を予定している。

(2) 世界禁煙デーにおけるイベント・点灯式(報告)について

5月31日(金)に開催した、世界禁煙デーイベント及び点灯式について報告し、あわせて点灯式の模様を動画にて映写した。

(3) 地区医師会タバコ対策に関する担当理事連絡会について

7月4日(木)午後7時よりWEBにて開催する旨については既に案内済みであるが、担当理事の他、会長先生にも出席いただきたく、改めてお知らせした。

(4) 医師会立看護師・准看護師学校養成所の学生募集に係るポスター(令和6年度版)について

医師会立看護師・准看護師学校養成所の共通の学生募集に係るポスターを作成した。地区医師会にA会員数分を送付するので、周知のご協力をお願いした。

(5) 夏の救急需要ひっ迫を目前に控えた医療機関のご協力依頼について

病院に向け救急活動時間を短縮する取り組みについて、また、有床診療所に向け適正な転院搬送の運用について、東京消防庁、保健医療局より協力依頼がなされた。救急隊が次の救急要請に迅速に対応できるよう、改めて会員周知のご協力をお願いした。

(6) 令和6年能登半島地震における東京都医師会の対応 JMAT関連について

能登半島地震において、東京JMATは76チームが活動した。これまでの多大なるご協力に感謝の意をお伝えするとともに、5月31日をもってJMAT活動が終了した旨、報告した。

(7) 令和6年度東京JMAT研修会の開催について

本年度第2回・第3回の東京JMAT研修会を7月21日

(日)、11月17日(日)に東京都医師会において開催する。多くの地区医師会から積極的にご参加いただきたい。

(8) 認知症とともに暮らす地域あんしん事業「認知症サポート検診事業」について

令和元年度から開始された区市町村への補助事業である「認知症検診事業」が令和6年度より活用しやすい内容にリニューアルし「認知症サポート検診事業」として開始するので、ご協力をお願いした。

(9) 令和5年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施状況(第4四半期)

地区医師会別の第4四半期の実施状況を報告した。

◎地区医師会からの報告

(1) 中央ブロック

①「港区医師会・災害時医療救護マニュアル」の作成について (港区医師会)

(2) 城西ブロック

①世田谷区医師会立看護高等専修学校について (世田谷区医師会)

(3) 城南ブロック

①不当景品類及び不当表示防止法に違反する行為(ステルスマーケティング)告示違反行為について (大森医師会)

(4) 多摩ブロック

①5月26日開催「医療・介護フェス」について (立川市医師会)

◎出席者による意見交換

(1) 医療DXの課題について (練馬区医師会)

◎その他

(1) 第157回日本医師会臨時代議員会における代表質問について

底流

新型コロナウイルス感染症も 落ちついてきて

新型コロナウイルス感染症への関心も薄れ、人流も以前以上に増加している中、円安も手伝い訪日・在日外国人が非常に増えている

外国人医療に関して、現場での混乱は今のところ地区医師会から東京都医師会への報告はほとんどない。今後ますます外国人の診療が増えてくることで、混乱の報告は増えてくるのではないかと予想される。

東京都には医療機関向け外国人患者対応支援ポータルサイトが開設されており、外国

人医療に特化していない医療機関をサポートする体制ができています。また、外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)における認証医療機関一覧があり、患者さんを紹介することもできる。

しかしながら、来院した患者さんを診察しないで紹介することはなかなかできない。は外国人の診療をすることが多くなることも覚悟していた

も、安全であれば何とかしてあげようと思うのが臨床医である。登録制ではあるが、電話通訳サービスの用意があり、通話料金は患者さんに請求することになっているが、これもなかなかできないのが現実である。地域によって違うかもしれないが、これからは外国人の診療をすることが多くなることも覚悟していた

多くなることも覚悟していた

ほうがよいと思う。

まったく日本語のわからない外国人が翻訳アプリで受診することがある。日常会話がメインのアプリでは、診療内容がうまく翻訳されないかもしれないと個人的には不安を感じている。自分の使いやすいくことも今後は必要かもしれない。日常診療にもグローバル化の波がきているのである。

一方、大規模災害の時はどうなるであろうか。自分のクリニックの周りで被災するだけなく、どこかへ出かけていて、外国人と一緒に災害に遭遇するかもしれない。それが観光地だったらなおさらである。能登半島地震のように、一時的に携帯の基地局がダウ

ンして、お気に入りの翻訳アプリが使えないかもしれない。周囲にいる同じ被災した人たちの中には、すぐにでも診察を必要とする外国人もいるかもしれない。もちろん災害時の専門知識を備え、訓練を受けた医師が派遣されるのが理想だと思う。

私たちは、日本語が一番上手に感情豊かに表現できるので、簡単な文章、擬態語は使わない、理解しやすいことばで言い換えるなど、外国人にもわかる「やさしい日本語」とジェスチャーで意思疎通を図る発想も持っていてほしい。先生方ちょっと練習してみてください。

(市川菊乃)

ていた。きたい。

令和6年度 診療報酬改定について

今回、医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定が行われました。

令和6年度診療報酬改定における基本方針の概要は、以下のよう示されました。

（１）物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応

（２）全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など医療を取り巻く課題への対応

（３）医療ＤＸやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現

（４）社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

また主要な改定項目は以下のとおりとなっております。

①賃上げ・基本料等の引き上げとして、外来・在宅・入院のベースアップ評価料の新設、入院基本料、初診・再診料の引き上げ

②医療ＤＸの推進として、医療情報取得加算、医療ＤＸ推進体制整備加算、在宅医療ＤＸ情報活用加算などの新設

③ポストコロナにおける感染症対策の推進として、特定感染症入院医療管理加算や特定感染症患者療養環境特別加算、発熱患者等対応加算、抗菌薬適正使用体制加算などの新設

④同時報酬改定における対応

として、協力対象施設入所者入院加算、介護保険施設等連携往診加算などの新設

らを達成するため、ベースアップ評価料に加えて、初診・再診・入院基本料の引き上げも実施されております。

⑤外来医療の機能分化・強化等に対して生活習慣病管理料（Ⅱ）の新設、地域包括診療加算、後発医薬品使用体制加算の見直しなど

も実施されております。

⑥医療機能に応じた入院医療の評価として、地域包括医療病棟の新設、重症度、医療・看護必要度および平均在院日数の見直しによる急性期医療の機能分化を促進

など

⑦質の高い訪問診療・訪問看護の確保として、在宅医療情報連携加算や在宅がん患者緊急時医療情報連携指導料、往診時医療情報連携加算の新設、患者の状況に応じた往診料等の評価の見直し

など

⑧重点的な分野における対応について、働き方改革も踏まえた救急患者連携搬送料の新設

など

この中で特に広く先生方に関係するものとして、ひとつはベースアップ評価料が新設されました。医療機関等の過去の実績をベースにしつつ、更に今般の報酬改定による上乗せの活用、賃上げ促進税制の活用等により、令和6年度に＋2.5％、令和7年度に＋2.0％のベースアップを

実施し、定期昇給などもあわせて、昨年を超える賃上げの実現を目指すものです。これ

らを達成するため、ベースアップ評価料に加えて、初診・再診・入院基本料の引き上げも実施されております。

外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）は、医療関係職種

の賃金改善を実施している場合の評価であり、外来医療または在宅医療を実施しているすべての医療機関で届出をすることで算定可能です。また

外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）は、医療関係職種の賃金の更なる改善を必要とする医療機関において、賃金の改善を実施している場合の評価として新設されました。対象職種は厚労省の資料等からご参照ください。

施設基準については、職員の給与や外来・在宅医療の算出に基づいて計算を行い、対象区分の届出が必要となり、評価料（Ⅱ）の届出にあたっては、届出以前の3、6、9、12月に最も近い月を選択し、算定式により算出を行います。なお、3か月に一度は区分確認をし、区分変更がある場合は算出月に届出が必要となります。届出様式の記載は、非常に煩雑で分かりにくい

ため、厚労省のホームページにベースアップ評価料計算支援ツールが掲載されていますのでご参照ください。また

疑義解釈にて「算定月から賃金改善を実施する必要があります」旨が示されていますので、注意が必要です。

また、今回特定疾患療養管理料の見直しが行われ、対象疾患から生活習慣病である糖尿病、脂質異常症、高血圧が除外されております。これら3疾患については生活習慣病管理料（Ⅰ）（Ⅱ）というものが新設されました。それ

地区医師会新会長紹介

- ①最終卒業校
- ②略歴
- ③趣味
- ④好きな言葉

女子医大
医師会
なかむら
しんいち
中村 真一
(消化器内科)



- ①産業医科大学
- ②女子医大医師会理事、同副会長、都医予備代議員、日医代議員
- ③マラソン、登山、将棋
- ④遡近、寛容

東京都医師会「医学研究賞」「グループ医学賞」募集

東京都医師会では「東京都医師会医学研究賞」「東京都医師会グループ医学賞」を設けております。令和6年度も募集を行いますので、所属の地区医師会へ要綱等をご確認の上ご応募ください。

■医学研究賞

表 彰：医学研究賞・若干名（助成費各100万円）、奨励賞・若干名（助成費各30万円）
＊研究賞以外の優秀な原著論文を発表した筆頭著者に対し奨励賞を贈る ＊臨床医学（社会医学を含む）分野および基礎医学（臨床への貢献が期待されるもの）分野の応募数を勘案して選出する

応募資格：東京都医師会会員であること。
＊平成31年度（令和元年度）から令和5年度の本賞受賞者を除く

対 象：臨床医学（社会医学を含む）、基礎医学（臨床への貢献が期待されるもの）の分野において優れた原著論文を発表した筆頭著者、またはequally contributed author（複数筆頭著者）。原著論文は令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）発行の学術雑誌に発表されたもの。

＊1人につき1論文とする ＊発表年月は冊子体のものを適用とするが、オンライン掲載のみの場合はこの限りではない ＊応募者は共著者の承諾を得ること ＊同一研究によるグループ医学賞との重複応募は不可とする

応募方法：候補者調書に原著論文一篇を添付のうえ、所属地区医師会経由で提出する。

■グループ医学賞

表 彰：1～2グループ（助成費各100万円）

応募資格：東京都医師会会員が所属するグループ。但し、代表者は本会会員であること。
＊平成31年度（令和元年度）から令和5年度の本賞受賞グループを除く

対 象：地域において臨床・社会医学の研究あるいは医療の実践に優れた業績をあげたグループ。
＊対象外 ①大学間のみでの共同研究 ②委託事業
＊同一研究による医学研究賞との重複応募は不可とする

応募方法：応募用紙にグループ研究・社会医学活動の内容を証明し得る資料を添付のうえ、代表者の所属地区医師会経由で提出する。

◎表彰式・講演会等

両賞受賞者には、表彰式において表彰するとともに、受賞内容についてご講演いただく予定です。また、東京都医師会雑誌に受賞内容の概要をご執筆いただきます。

◎受付期間 令和6年9月2日（月）～9月30日（月）（東京都医師会必着）

◎お問い合わせ先 東京都医師会 広報学術課 TEL：03-3294-8821（代）

都医ニュース2号(昭和36年2月発行)をお持ちの方はご一報ください
東京都医師会広報学術課 03-3294-8821

FM93 AM1242 月曜から金曜
ニッポン放送 あさ6時15分頃から
『モーニングライフアップ
今日の早起きドクター』

放送中!

ニッポン放送（AM1242kHz／FM93.0MHz）朝の番組「飯田浩司のOK! Cozy up!」内で6時15分頃から5分程度、東京都医師会の役員・委員会委員等が出演して生活に役立つ健康情報をお届けしています。
過去の放送はすべて番組ホームページまたはポッドキャストから聴くことができます。

■番組ホームページ
http://www.1242.com/cozy/

■ポッドキャスト
https://omny.fm/shows/cozy-up/playlists/doctor

飯田浩司の
OK! Cozy up!



19% みどりの広場

医療で未来を切り拓く。
あなたの大切な
人生のために

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立駒込病院

院長 戸井雅和



都立駒込病院は、1879年に主に伝染病を診療する病院として開設され、1975年にはがん感染症のセンター機能を有する高度で専門性の高い総合病院に生まれ変わり、2011年の改修を経て現在に至ります。さまざまな難治性疾患の診療にも力を入れていきます。患者に寄り添い、困難な病態、高度な合併症を有する方にも、最善の治療を模索して、質の高いケアを実施することに努めています。昨年度（2023年度）、職員から募った駒込病院のキャッチフレーズでは、冒頭タイトルの「医療で未来を切り拓く。あなたの大切な人生のために」に加え、「がん感染症に立ち向かう、あなたの命を支えます」「総合診療力を基盤とした、がん感染症のリーディングホスピタル」の3つが選ばれました。他にも多くの提案があり、選出には少し困りましたが、院内の選考を経て、職員の投票によって決まりました。職員の想いが詰まったフレーズです。

当院は都道府県がん診療連携拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、第一種・第二種感染症指定医療機関、エイズ診療中核拠点病院ほか各種の施設認定を受けていますが、それら機能の維持、整備と伸展に努めています。また、東京都がん診療連携協議会では事務局を担当、公益財団法人がん研究会有明病院とともに、59の協議会企画施設の取りまとめを行っています。今年度はQ1活動、BCPの検討、小児がんフォローアップ体制の構築等に注力しています。造血幹細胞移植治療、CAR-T療法には、首都圏のみならず全国から多くの患者が来院し、施行数は我が国トップレベルにあります。

外科系領域ではロボット支援手術が増え、2023年度の手術件数は397件でした。出血量が減り、術後合併症の頻度も大きく低下、大きな手術でも高い安全性と良好なQOLを維持できるようになりました。他方、手術室では高度なマネージメントが必要になり、麻酔科、手術室、外科系スタッフが丸となった今、令和の改革に取り組んでいます。高難度な手術も

見ても最先端の診療が実施されています。特に、頭頸部、食道、胃肝臓、大腸、腎泌尿器、形成再建外科領域や、脊椎腫瘍、骨軟部腫瘍、脳外科領域などで、極めて難易度の高い手術を行っています。また、乳腺、婦人科、皮膚科、眼科領域などでは先進的な集学的治療を展開しています。小さな限局的な乳癌には、切らずに経皮的にラジオ波で焼灼する治療法も導入しました。世界的に

がん薬物治療の件数は飛躍的に伸びています。腫瘍内科病棟、通院治療センターをベースに、最先端治療を実施するとともに、希少がんや標準治療がなくなった患者の治療に際しても、ゲノム診療を軸に治療法を模索、積極的に取り組んでいます。また、緩和ケアセンターでは拠点施設として、質の高いケア、地域との連携を展開しています。がん、感染症、難治性疾患、総合診療、救急などの診療の

私は早朝散歩を日課としている。
午前6時に自宅を出発し、数分でお鷹の道入口に到着。ここは国分寺崖線下の小川沿いの小道で、この辺りが江戸時代に尾張徳川家の御鷹場だったことから「お鷹の道」と言われている。
この道は少し行き、東屋を右に曲がると「真姿の池」がある。不治の病に悩む女性、ここで水浴をしたところ病が治ったとの伝承からそう呼ばれている。池の祠にお参りし、湧水の脇の階段をのぼって都立武蔵国分寺公園へ向かう。

この公園は国分寺崖線上にあり緑豊かで、鷹・キツツキ・渡り鳥等の野鳥や、キンラン・キツネノカミソリ等の野草を見ることが出来る。また池にはカワセミがいて、春にはカルガモやカイヅブリの子育ての様子を窺しめる。

出で坂を下る。八幡神社の先の階段をのぼり、仁王門をくぐり薬師堂でお参り。薬師堂は、鎌倉時代に幕府軍と倒幕軍が戦った分倍河原の合戦で武蔵国分寺が焼失したため、後に倒幕軍の将だった新田義貞が寄進したと伝わっている。

薬師堂を下りると目の前に武蔵国分寺跡が広がる。広大な野原で、晴れた日には広い青空と国分寺崖線の森の緑が気持ちいい。史跡には沢山の桜の木があり、桜の時期はとても綺麗な景色となる。

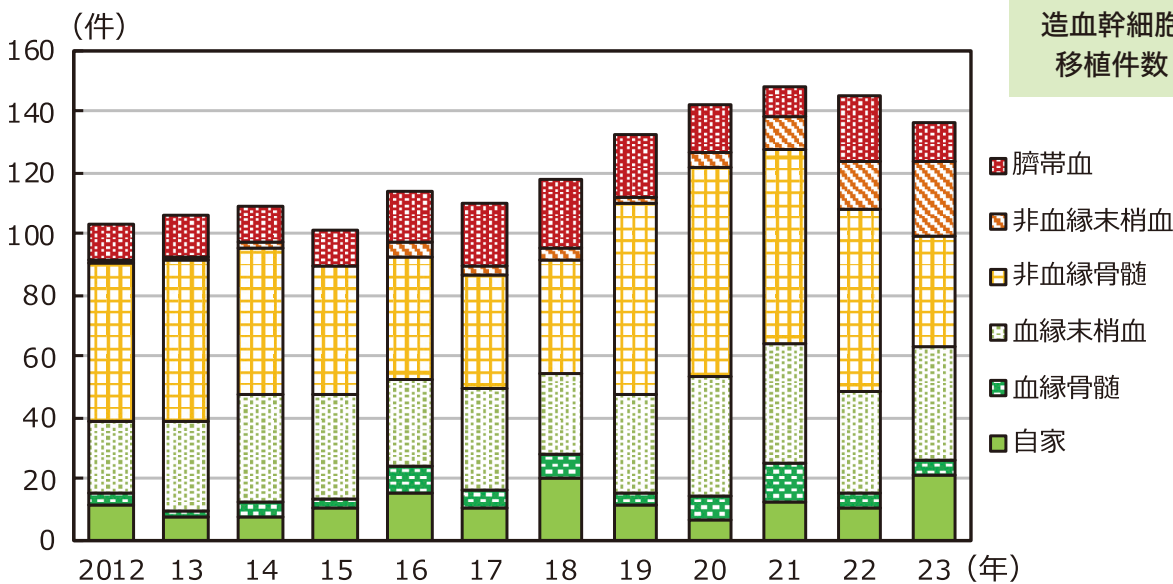
国分寺のお寺さんにお参りし、ここからお鷹の道にもどって帰宅。約1時間半、8千歩ぐらい歩くので健康維持に良いと思います。続いている。



「真姿の池」の鳥居と石碑 橋の奥には祠がある

国分寺崖線さんぽ
武蔵野の名水・自然・史跡を堪能
趣味の散歩

（国分寺市医師会・知念信昭）



東京都医師囲碁大会のお知らせ

団体戦・個人戦

日時：9月23日(月) 9時30分集合 17時終了予定

会場：日本棋院市ヶ谷本院3階

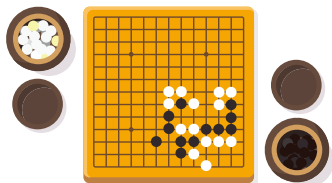
参加費：5,000円(昼食込)

主催：東京都医師囲碁連盟

申込方法：氏名、住所または連絡先、棋力を明示し下記へお申し込みください。

申込先：品川区医師会 櫻井幸弘 Fax：03-3445-1815

締切：8月31日(土) 医師会員でなくても歓迎します



目黒区医師会

板津安彦

崖っ縁の野宿

家内の父は地質学者である。特に海底地質学が専門なのでアメリカとソ連の睨みあい、冷戦時代には南カリフォルニア大学の教授として招聘され、二年近く教鞭を執ると同時に、アメリカ西海岸の地形、地質の精密な調査を依頼された経歴の持ち主である。と言うのは「ソ連軍が大型の潜水艦隊で西海岸に接近し、陸戦隊を上陸させる作戦を立てている」という話が囁かれていたのである。

伊豆半島は元々太平洋のかなたにあったが島がプレートの移動に乗って日本列島に近付き、ぐいぐいと食い込んでしまったものである。現在に至ってもその活動は続いているので、伊豆地方は地震が多いのである。

海底の地質を調べるには先ずは陸上の地質を調べ、その先の海底を探查するのが順序である。水産大学の教授時代にはしばしば伊豆半島に学生を連れて行って地質調査の実習を行ったという。勿論の事、伊豆半島と本土の衝突した現場には必ず行って左右の地質の違いを観察させているのである。あちこちの土を採取して、その都度、説明、講義する授業をしていた時に起こった出来事である。日暮れには下山する予定が狂って、気が付いた時には日が暮れて真っ暗になってしまったのだ。

しかし非常食を持っているし、水も十分にある。「仕方がない。ここで野営だ」ということで学生たちは周りの草原に寝袋を出してもぐりこんだ。義父は懐中電灯で周りを見ると大きな這い松が密に丸い形に生えているのを見つけた。「うむ。これは地べたより弾力があって寝心地が良いだろう」と這い松の密な枝の上に毛布を延べてその上で寝袋に入ってぐっすりと眠った。

翌朝、「先生っ。先生っ。動いちゃ駄目よっ。動かないでっ」と言う叫び声で目が覚めた。起き上がろうとしたら「駄目ッ。駄目ッ。動かないでッ。ロープを投げるから体にしっかり巻き付けてっ」

訳も分からないが、兎も角ロープをしっかりと身体に巻き付けてしっかりと結んだ。

「引っ張りますから絶対に自分で動かないでっ。上を向いたまま足を曲げて丸くなるような姿勢になって」

訳の分からぬまま言うとおりにして少し頭を起こしてみると十人ぐらいの学生がロープを握っている。

「ひっぱりますよっ。背中がこすれて痛くてもその姿勢を崩さないでくださいっ」言われるままの格好で

ロープに引っ張られて道の上まで来た。数人の学生が駆け寄って来て抱き起こしてくれた。

「えっ、いったい何があったんだ」

「先生、後ろを見て下さい」

振り返って見ると、寝ていた這い松は五、六十メートルの断崖絶壁の上に枝を伸ばしていたのである。真っ暗闇の中では懐中電灯の光では普通の地面に生えているものとは見えなかったのである。

この上で一晩寝ていたとは。と助けられてから腰が抜けてしまったという。

まあ、無事で何よりのできごとであった。

(『目黒区医師会会報』2022年7月 第254号より抜粋)



カワセミ

世田谷区医師会 岸田 勝



目黒区医師会 岩井裕子

無 声 拝 聴

母の入院から

今回は私事となりますが、母親の緊急入院から思ったことを書かせていただこうと思います。2009年に解離性動脈瘤から一命を取り留めた以後は、再入院することもなく、いわゆる血液サラサラのお薬を内服しつつ、それなりに穏やかな日々を十有余年過ごしております。年齢、御年91歳で、少し離れて暮らす子どもたちの世話になることも、施設に入る提案などほもつてのほかという強い意志を貫いて頑強に一人暮らしを続けておりました。

ところが、義姉の法事で一泊二日の自動車の移動を終えた数日後に、黒色便がでたのことで、かかりつけのクリニックからの紹介を経て、その日のうちに市立病院へ緊急入院ができて、緊急内視鏡、止血処置、その後の輸血対応で、1週間ほどで退院にもこぎつけました。その入院中のある晩に、怒声とともに壁を叩くような音を聞いて、このままこの病院にいた

(菊池嘉)

ら取り留めた命も危ういと感じたそうです。大正生まれのレトロで頑固な父親の言うなりにさまざまなことに耐えてきて、何事にも文句を言わない母ですが、この時ばかりは、勇気を振り絞って看護師さんに「一体何が起きたのですか？」と伺ったそうです。

すると看護師さんは「安心してお休みください。この患者さんの病状について詳しくはお話しできませんが、不穏状態になることがあります。私たちが全力で患者さんに接して、ほかの方には全く心配をかけることはありません。大丈夫です」と穏やかに話してくださり、安心してその後のいく晩かを過ごせたそうです。

医療技術の進歩はもちろんですが、昼夜交代制で献身的に看護にあたる医療職に感謝を込めて頼もしく思う、今日この頃です。

梅毒流行の背景にある難しさ

梅毒の流行が続いている。いろいろな意味で梅毒は「難しい感染症」である。症状の多彩さ、臨床病期、流行対策など、多くの難しさをもっていることを理解することが、梅毒対策のためにも必要となる。

梅毒は「模倣の達人」と呼ばれるほど、多彩な症状で多くの診療科と関わる可能性がある。病期分類では、局所病変を中心とした〈第1期〉、発疹などが起こる〈第2期〉と続き、〈第3期〉では心血管や脳神経などに重篤な症状をきたす。第1期や第2期の症状は、通常は無治療でも自然軽快してしまう。したがって、早期診断のためにも、初期症状を見落とさずに検査することが重要である。しかし、その他の期間の多くは無症状であることから、仮に症状がなくても、リスク等によって積極的に検査を行うことも必要となる。

一般的な知識の啓発も大切である。無症状であっても感染させる可能性、口腔性交による咽頭感染なども知っておくべき情報である。さらに、本人が治療しても、パートナー側も治療しなければ、再び感染してしまうことも伝えておく必要がある。

性産業従事者の中での増加も指摘されているが、現在は副業として性産業に関わる人や、WEBやSNSを介する非店舗型の形態で働く人も増えており、その予防啓発も難しくなっている。また、出会い系サイト、マッチングアプリなどによって、性行為につながるハードルも低くなるなど、一般的な環境も変化している。現代の性感染症は多様化している。この流行を乗り越えるためには、対象層に合わせた、多方面からのアプローチによる、予防啓発や受検勧奨が求められている。

梅毒の診療における難しさに対して、日本性感染症学会から日常診療における指針となる『梅毒診療の考え方』が公開された。同学会ホームページから入手可能なので、ぜひ参考にしていきたい。

(文責：今村顕史)

感 染 症 豆 知 識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

医師国保からのお知らせ

特定健診を受けましょう！

～地域医療を支える皆様の健康が地域の元気を創ります～

40歳～74歳の方へ受診券をお送りしています。

健康保持増進のため、是非受診してください。

健診費用は組合が全額負担します。

従業員や家族への自家健診も可能です。

※人間ドック等健診費用の助成申請との併用はできません。

詳しくは当組合ホームページをご覧ください

www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6434 (業務課)

知っていますか？

スマートグラス

メガネのように装着することでデジタル情報を表示できる、ウェアラブルデバイス。Bluetoothで連携したスマホの画面をスマートグラス越しに投影でき、またハンズフリーで必要な情報を得られるため、遠隔診療や医学教育などの分野で活用されるなど、医療分野においてもさまざまな可能性を秘めている。一方、試験時の不正使用が社会問題になるなど、その使用には適切なルールと監視が必要であり、なにより個々のユーザーがモラルを持って使用することが求められる。

地区医師会長からの一言 文京区医師会長に就任して

文京区医師会長 細部高英



令和5年6月に文京区医師会第24代会長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。令和5年7月、初めての地区医師会長協議会会場に入ると、最前列中央の席で目の前には尾崎会長・武見先生・羽生田先生・自見先生が座っており、緊張感が倍増した記憶があります。

さて、会長に就任して約1年が過ぎました。コロナ禍の時と変わりいろいろな会やイベントが再開となり、人と対面できることを有り難く思い、前会長のご苦勞を痛感いたしました。

令和5年1月1日現在、文京区の人口は22万9,653人で推計では令和15年には25万5,395人となり、65歳以上は2割に達するとされております。健康寿命率（要介護2未満）は男性が83.7歳、女性が86.8歳と延伸しています。

文京区には4大学病院と1都立病院を含む9病院があり、診療所は小石川医師会と文京区医師会で約200施設あります。文京区で実施した受療行動のかかりつけ医療機関アンケートでは、診療所が64.2%で最も多く、医師会会員の日常の診療が健康寿命延伸に寄与していると思われます。また、特定健康診査では残念ながら受診率43.5%ですが、令和3年からは増加傾向にあります。がん検診では、子宮がん・乳がん検診受診率は5年前の約1.5倍となっており、女性の検診に対する認識の高さが伺えます。また小児科医の活躍で、MRワクチンの接種率は1期95%以上、2期は94.0%となっております。

ここで文京区の特徴をご紹介します。由緒ある護国寺や根津神社、緑の多い大名庭園であった小石川植物園や六義園があり、東京大学をはじめとする教育機関も集まっております。歴史的には、樋口一葉や森鷗外、夏目漱石など多くの文学者を輩出した区であり、湯島聖堂は江戸時代に幕府の官学を学ぶ場となり、日本の学校教育の発祥の地と言われております。それ故、文の都（ふみのみやこ）と名付け、少子化と言われている中、教育目的での転入が多く、人口も子どもも増えております。子育て支援も大きな事業と位置づけております。

会長就任後の1年間は、休日当番輪番制の開始、文京区医師会館のIT化、インボイス制度の開始、新たな感染対策のための東京都医療措置協定締結や診療報酬改定で複雑となった施設基準届や加算の説明会など、会員への周知をまいりました。

令和6年は能登半島地震から始まり災害時医療が注目されており、現在避難所訓練でトリアージを行っておりますが、さらに進んだ災害時のシステム構築は早急の課題と考えております。そして国が推奨している医療DXの構築情報を会員に提供してまいります。

東京都医師会執行部の先生方と各医師会先輩会長と連携の上、医師会事業を行っていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。